

令和8年度 第1回めぐろスマイル会議 報告書

1 実施概要

日 時 : 令和8年7月11日(土) 14:00~17:00
開 催 場 所 : 総合庁舎1階 E会議室
参 加 者 : 12名

2 タイムテーブル

時刻	内容
14:00~14:20	(1) 区挨拶・めぐろスマイル会議に関する説明
14:20~14:35	(2) ファシリテーターの紹介
14:35~15:35	(3) 個人ワーク ~お互いのことを知ろう!~
15:35~15:45	休憩
15:45~17:00	(4) グループワーク
17:00	終了

3 会議内容

(1)区挨拶・めぐろスマイル会議に関する説明

● 区挨拶

子ども若者課長の挨拶でスタートしました。挨拶では、「大人と子どもで、目線が違うことはたくさんある。若者ならではの目線で、目黒区の未来を皆さんと一緒に作っていく、という取組にしていきたい。この取組を通じて、みなさん自身の成長にもつながればと思っています」ということを伝えました。

● めぐろスマイル会議に関する説明

子ども若者課より、めぐろスマイル会議に関する説明を行い、以下のことを伝えました。

【目的について】

めぐろスマイル会議には大きく2つの目標がある。
1つ目は、みなさんのような子ども・若者が、自分の意見を発信したり、社会や地域のことについて考えたりするきっかけをつくること。こうした経験が、みなさんがこれから成長していく中で、少しでも役に立ったり、自信につながったりしてくれたら嬉しい。
2つ目は、みなさんの意見を区に届けて、区の取組をより良くしていくこと。みなさんの世代から直接意見を聴く機会は区にとってとても貴重なので、「こんな目黒区になったらいいな」ということを聴かせてほしい。

【目標について】

10月に、みなさんでまとめた提言を発表していただく。



<画像1:挨拶の様子>



<画像2:めぐろスマイル会議の説明>



<画像3:説明を聞く参加者>

【スケジュールについて】

会議は7月から10月までの間に全6回開催する予定。途中で一度、中間発表も予定している。10月の提言発表に向けて、みなさんと楽しく話し合いながら、少しずつ提言を形にしていきたい。

【昨年度の実施内容について】

昨年度は、「めぐろプレ子ども・若者会議」を試行的に実施し、大きく3つの取組を行った。

1つ目は、会議の名称などの検討・決定。その中で「めぐろスマイル会議」という名称が決定した。

2つ目は、ロゴデザインのアイデア出しと検討。「めぐろスマイル会議」をより多くの方に知ってもらうためのロゴの作成に取り組んだ。

3つ目は、模擬会議。「めぐろスマイル会議の周知」と「将来の公共施設」の2つのテーマについて話し合った。

【提言テーマについて】

提言テーマは、昨年度実施した「めぐろYouthミーティング」でいただいた意見を参考に、「子ども・若者の居場所」「子ども・若者への支援」「子ども・若者への情報発信」「子ども・若者の交流・体験」の4つに設定した。

ぜひ自由な発想で話し合ってもらいたい。

【提言について】

提言をまとめるときは、大きく3つのポイントを意識していただきたい。

1つ目は、「目黒区の現状」。みなさんが暮らしたり、学んだり、働いたりする中で感じている目黒区の現状についてまとめてほしい。

2つ目は、「目黒区の理想」。これから先、目黒区がどのようなまちになってほしいか、みなさんの思いをまとめてほしい。

3つ目は、「実施策」。みなさんが思い描く理想の目黒区を実現するために、区としてどのような取組が必要なのかを考えていただきたい。

【最後に】

みなさんからいただいたアイデアや提案については、「その後どうなったのか」が分かるように、何らかの形でフィードバックをできればと思っている。みなさんが思い描く目黒区の未来に向けた前向きなアイデアや提案を、ぜひ聴かせてほしい。

さらに、今回のテーマ以外でも、「こんなことを提言したい」「こんなアイデアがある」といったことがあれば、ぜひ相談してほしい。これからの目黒区の未来をつくっていくのは、みなさん。10月の提言に向けて、ぜひ楽しみながら、一緒にいろいろなことを考え、話し合っていきましょう。

(2)ファシリテーターの紹介

提言制作のお手伝いをする4名のファシリテーターを紹介しました。

● 葛西 優香(かさい ゆか)

阪神・淡路大震災の経験から、「防災・まちづくり」を自身のテーマとして仕事をしている。皆さんと一緒に目黒区のまちづくりについて考えていきたい。



<画像4:ファシリテーター紹介①>



<画像5:ファシリテーター紹介②>

● 酒井 智彬(さかい ともあき)

和楽器を活用した教育活動に携わっている。年齢も比較的近いので、皆さんと一緒に良い提言に向けて話し合っていきたい。

● 東野 太亮(とうの たいすけ)

小学校の教員として勤務しており、子どもたちの意見を取り入れながら日々教育に携わりたいと思っている。スマイル会議の中でも、大人にはない視点をどんどん出してもらいたい。



<画像6:ファシリテーター紹介③>



<画像7:ファシリテーター紹介④>

● 葛西 啓之(かさい たかゆき)

いまの時代、子どもや若者が何を目指していけばよいかわかることがとても難しい。今回のスマイル会議を通じて、皆さんにとっての幸せとはなにかを知りたい。その上で、目黒区が子ども・若者の皆さんにどんなサポートができるかを一緒に考えていきたい。

(3)個人ワーク ～お互いのことを知ろう！～

以下のワークシートに沿って、参加者の皆様に自己紹介をしていただきました。

<画像8:自己紹介シート表面>

<画像9:自己紹介シート裏面>

自己紹介では、以下のような意見があがりました。

【めぐろスマイル会議への応募理由】

- ・若者の政治参画に興味があり、自分たちの思いを反映できるコミュニティに魅力を感じた。
- ・高校生が大人から軽く見られる経験があり、若い人が集まる環境に価値を感じた。
- ・社会に出た後の自分をイメージしたくて参加した。
- ・地域活動に参加することで社会の役に立てると思った。
- ・同年代と交流したり、意見を交わしたかった。
- ・地域開発・街づくり・国際交流に興味があり、学びにつなげたい。
- ・目黒区をより良くする活動について知り、もっと関わりたいと思った。
- ・大学生になり、子どもの頃の感覚を忘れていく危機感があり、今の問題意識を残したいと思った。
- ・大学生という「子どもでも大人でもない立場」でできることがあると思った。



<画像10:参加者自己紹介①>



<画像11:参加者自己紹介②>



<画像12:参加者自己紹介③>



<画像13:参加者自己紹介④>

【目黒区の好きなところ】

- ・静かなところ。
- ・高級住宅街に見えるが、意外と庶民的な雰囲気がある。
- ・自然が多い(散歩が好き)。
- ・生活圏内に自然がちょうどよくある
- ・美味しいパン屋さんが多い。
- ・都会だけど自然や公園が多く、住みやすい。
- ・街全体がきれい。
- ・治安が良い。
- ・目黒川の桜が楽しめる。
- ・図書館・プール・ジムなど公共施設が近くにあり利用しやすい。
- ・住宅地が多く、街に活気がある。
- ・緑が多く、公園やブランコが多い。
- ・商店街が活気ある。
- ・庶民的で親しみやすい雰囲気がある。

【目黒区の、もっとこうなればいいなと思うところ】

- ・多世代間の交流が少ない。
- ・目黒区について深く学ぶ授業が少ない。
- ・区外の学校に通う人が、防災情報を得にくい。
- ・無料で使える自習室があると良い。
- ・自分が頼れる場所がどこか分かりにくい。
- ・同年代と話す機会が少ない。
- ・駅前などでタバコ禁止の場所で吸っている人がいる。
(ルールを守る人が増えてほしい)
- ・地域全体を盛り上げるイベントがもっと増えてほしい。
- ・人と人との関わりがもっと増えてほしい。
- ・若者と大人・年配の方の交流の場が少ない。
- ・生き物(蝶・セミなど)が減っているので増えてほしい。
- ・日陰が少なく、暑いので木を増やしてほしい。



<画像14:参加者自己紹介⑤>



<画像15:参加者自己紹介⑥>

(4)グループワーク

A班、B班の2班に分かれてグループワークを実施。
「政策提言する内容や方向性」「6回目までの計画」について、話し合いを行いました。

● A班

A班では、目黒区の現状の課題として、以下4つが共有されました。

- ① 地域の情報が入ってこない。
地域内での知り合いがいない。
自分と地域との分断が気になっている。
- ② 地域内でルールを守っていない人がいるから地域を
盛り上げるよりも先にまずは、ルールの徹底をしないと
いけない。
- ③ 同世代も多世代も交流する機会がない。交流しないと
一緒に盛り上げようという気持ちにもなれない。
- ④ 「この場に来ていない人」にも考えてもらえるような
きっかけがないといけないのではないか。

以上の課題をもとに、SNSの活用をはじめとした情報発信方法や、交流機会の創出など、様々な観点から意見が
挙がりました。

より具体的な提言にしていくために、第2回では、

- ・地域と自分(高校生)の分断が生まれていると、
何がいけないのか。
- ・多世代の交流(多世代が仲良くなること)が
なぜ必要と思っているのか。

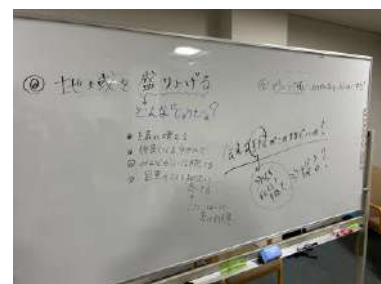
の2点を深掘りをしていく方針になりました。



<画像16:グループワークA班①>



<画像17:グループワークA班②>



<画像18:グループワークA班③>



<画像19:グループワークB班①>



<画像20:グループワークB班②>



<画像21:グループワークB班③>

● B班

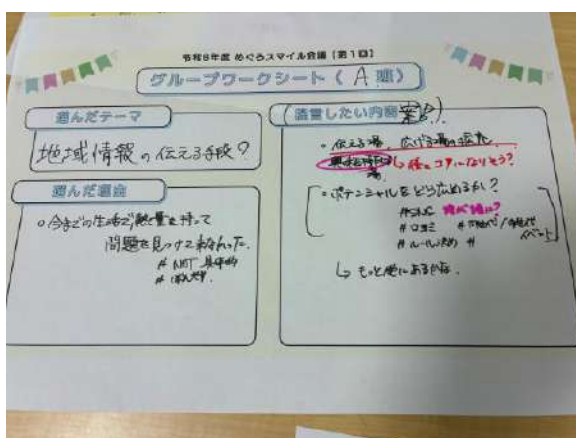
B班では、それぞれが思っている目黒区の課題やキーワードを書き出し、意見を出すことから始めました。

「コミュニティイベントの発信」「居場所の確保」「SNSの活用」など、様々な観点からの意見があがりました。

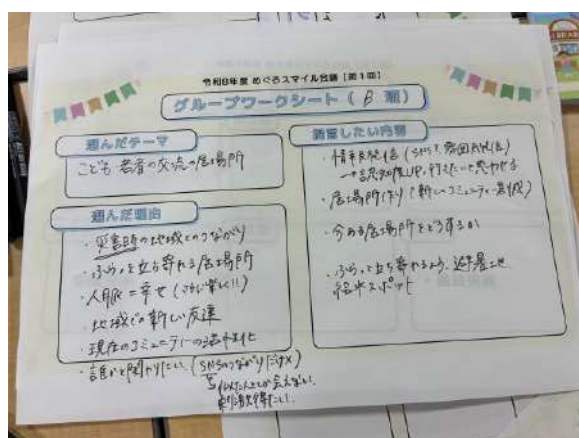
その中で、「イベントや交流機会は一定数あるものの、情報が届いていない」という点に着目し、SNSの活用をはじめとした情報発信方法について提言をまとめていく方針で話が進むとともに、そもそも「なぜ交流機会が必要なのか」「どんな交流があれば若者が参加するのか」など、根本的な課題やニーズはどこにあるのか、といった意見もあがりました。

第2回では、子ども・若者の課題感やニーズを改めて整理をし、提言の方向性を決めていくためのディスカッションをしていく方針になりました。

最後に、A班、B班ともに、グループワークシートにまとめて発表を行いました。



<画像22:A班ワークシート>



<画像23:B班ワークシート>

以 上